



パッテロー通信



《学校の教育目標》 心豊かでたくましい実践力をもつ子

八百津町和知 1227
電話 0574-43-0510

自分にはよいところがある

校長 中村 牧史



やおリンピックの日、帰ってきた子供さんにどのような言葉がけをされましたか。

- A…頑張っていた様子をほめる。「〇〇でよくがんばったね。」「かっこよかったよ。」「2番だったけど、1番とほぼ一緒やったよ。」「そろっとったよ。」「速かったね。」「係の仕事も頑張ったね。」など
- B…過程や頑張っていた様子をほめる。「(1番じゃなかったけど)前より速くなったね。」「(ちよっとずれとったけど)頑張って練習したことがわかって感動したよ。」「(結果はどうあれ)頑張ったところが見れてうれしかったよ。」「練習したかいがあったね。」など
- C…NGワード。(これだけということはないと思いますが…)「ずれていたよ。」「いまいちやったね。」「1番じゃなかったね。」「お兄ちゃんは頑張ったのに。」など Cはさげたいですね。

「自分にはよいところがあると思う」あてはまる 44.0% どちらかといえばあてはまる 44.0%

これは、7月に6年生に質問した結果です。昨年度の全国や県の平均より高いです。「自分にはよいところがあると思う」と認める気持ちを「自己肯定感」といいます。和知小学校で「パッテロースピリッツ」に取り組むことで伸ばしたい「自己有用感」(「自分は役にたって良かった」と思う気持ち)から獲得できる気持ちであると思います。また、「自己肯定感が高い子供は学力が伸びやすい。」という調査結果もあります。やおリンピックでの子供達の頑張りをぜひ自己肯定感アップにつなげたいと思います。

子供の自己肯定感を高めるために効果的なポイントをあげてみます。(参考:こどもまなびうラボ)

1. 子供の気持ちに共感する つい結果に対して意見してしまったり、解決策を言ってしまうしがちですが、子供の悔しさや悲しさをまず受け止めてあげましょう。【自己肯定感UPワード】「それは悲しいね」「とても悔しかったんだね」【NGワード】「だからダメだって言ったじゃない」

本人の気持ちを受け止めてあげることで、「お母さん、お父さんは私のことをわかってくれている」という気持ちになるようです。

2. 子供を人と比べない 親は、「やる気を出してくれるかも?」という気持ちで声をかけているかもしれませんが、子供は「僕は〇〇ちゃん比べて劣っている存在なんだ」と受け取ってしまいます。

【自己肯定感UPワード】「走るの、だいぶ速くなったんじゃない?」【NGワード】「お兄ちゃんはおかけっこが1番だったのに」

本人の過去と現在を比べたコメントをすることで、「自分の頑張ったことが認められている」と子供は感じるようです。

3. 過保護になりすぎない 子供が考えて行動を起こす前に親が手を出してしまうと、子供の成長になりません。【自己肯定感UPワード】「どうすればいいと思う?」「あなたはどうしたい?」【NGワード】「ママがやってあげるから」「ほら、〇〇があったほうがいいんじゃない?」

先回りした発言は、子供の考える機会を奪ってしまうようです。自分で考えさせ、自分で決めるという習慣が自己肯定感を育てます。

また、次のような言葉がけも効果的です。○「ありがとう」「助かったよ」という子供への感謝 ○「さすが」「すごい」「知らなかった」という期待を上回る驚きと承認

例年とは異なる部分が多い「やおリンピック」でしたが、無事行うことができました。ご理解、ご協力いただき、本当にありがとうございます。私たち教職員も、種目ごとに、各担当や担任が子供達の頑張りに感動して目を潤ませていました。この学校で、この子供達と、この家族の皆さんと、この教職員と共に、やおリンピックができて本当に幸せだと思いました。今回子供達が得た満足感や自己有用感をこれからの日常生活の充実につなげていきたいと思っています。



10月の「パッテロー活動」

◆やおリンピック in 和知小



声を出さない応援、密になる機会を減らした入場等、みんなで知恵を出し合いました。当日は競技・演技・係・参観の中に一生懸命さと温かさをたくさん感じました。参観の温かい拍手、ありがとうございました。



◆いもほり・ヤギとの触れ合い(1年生)



今年度も尾関一夫さんの畑でさつまいもほりの体験をさせていただきました。さつまいもを見つけたときの歓声等、楽しみながらいもほりをする姿は後日 CC ネットで放映される予定です。また富信さんの企画でヤギに餌を与える体験もさせていただきました。

◆石川清掃活動(4年生)



「石川探検」で学んだ「自然を守ることの大切さ」を実践しようと、石川清掃活動を行いました。長い距離を歩き、小さなゴミを見逃さず拾う姿に感心しました。

◆きんもくせいタイム



1年生にとって初めてとなる縦割り遊びがスタートしました。第1回目は自己紹介ゲームでした。今後は運動場、体育館、室内に分かれて縦割り遊びを行う計画です。

コンクール入賞 おめでとうございます。

前号に引き続き、夏休みに取り組んだコンクールの入賞者を紹介します。入賞おめでとうございます。

「税に関する習字」	関税務署長賞	5年生	飯田 咲優
「夏休みの詩と作文コンクール」	佳作	2年生	井戸 柗作